



マレーシア移住のススメ

るようですが、日本人同士あるいはローカルの人達との交流を楽しむのは、やはりクアラルンプールの日本人会に参加するのが良さそうです。

日本の半分〜1/3程度の生活費

先日、出張でマレーシアの首都クアラルンプールを訪問してきました。今回は『MM2H(マレーシア・マイ・セカンド・ホーム)ビザ』取得に関する情報収集をしてきたのですが、リタイア後にマレーシア移住を希望される日本人シニア層が増しているようです。

特にここクアラルンプールの日本人会は、世界一サークル活動が活発な日本人会と言われており、いま現在、70以上のサークルが活動しており、沢山のサークルを掛け持ちしているとても元気な日本人シニア層にお会いすることもできました。マレーシアも広いので、ペナンやコタキナバルといった海沿いの街でスローライフを楽しむ方もい

る日本人シニア層の皆様はともて生き生きしており、私の両親と同年代とは思えないほど若々しいご様子でした。医療施設も非常に充実しており、大きな病院には日本人通訳がいて、医療レベルも日本と遜色ないそうです。日本人が入居可能な介護施設もあるので、高齢の両親を介護するために移住することも可能です。また他民族国家であるマレーシアの学校は非常にインターナショナルなので、子供と一緒に親子留学されるご家族も増えています。

50歳以上申請が有利

しかしながら、MM2Hビザの申請条件は年々厳しくなっており、申請希望者も急増していることから、仕事をリタイア後に検討するのではなく、仕事を現役の段階から計画的な移住プランを考えておいた方が良さそうです。

現在のMM2Hビザ申請

条件は、50歳以上で約1050万円(35万RM)、50歳未満で約1500万円(50万RM)以上の流動資産証明および約30万円/月(1万RM)以上の収入証明の提示が必要となります。また、本申請時に50歳以上で約450万円(15万RM)、50歳未満で約900万円(30万RM)の定期預金口座の開設が必要となります。年齢が50歳以上の方が、申請条件が緩いのですが、リタイア後は約30万円/月(1万RM)以上の収入証明の提示が難しくなる可能性が高いので、MM2Hビザは50代になったらすぐ申請するのが現実的と言えるでしょう。弊社では今後、MM2Hビザの申請代行サービスも開始する予定ですので、ご関心のある方は、お気軽にお問い合わせください。

今月のマネーの教訓

リタイア後にマレーシア移住を希望する日本人シニア層が急増している。気候が温暖で、生活費は日本の半分〜1/3程度のご褒美人生を楽しもう。



自分の年金は自分で作る時代です。

「海外で作る自分年金セミナー」開催のお知らせ (参加費無料)

主催：Kenshin Asset Consulting (Hong Kong) Co.,Ltd.

5月25日(土)14:00～16:00 ▶ 深圳・粵海酒店7F華南NET会議室

5月26日(日)14:00～16:00 ▶ 香港・謙信アセットコンサルティング会議室

http://www.kenshin.com.hk/ 社長ブログ：http://blog.explore.ne.jp/kitsu/

個別のご相談も随時受付中！ /

セミナーのお申込はメールもしくはお電話で

info@kenshin.com.hk

TEL:+852-2567-1366

住所: Room 2302, 23/F, North Point Asia-Pac Commercial Centre, No.10 North Point Road, Hong Kong